

再議への反対討論（3月臨時会・3月29日）田口かずと議員

議論のすり替えをやめなさい 保育料据え置きは市民の願い

3月29日の3月臨時会本会議で、田口議員は、一般会計予算に対する再議について、先の議決のとおりとすることに賛成する立場から、討論を行いました。田口議員の討論を紹介します。

据え置きを覆すことは許せない

賛成する理由の第1は、保育料を据え置くことを求める市民の声を反映した議会の議決をくつがえすことは、断じて認められないからであります。

昨日の本会議質疑で市長は、保育料の据え置きについては「議会の議決に従う」と答弁されました。それなら、再議は取り下げるべきであります。

再議は、議論のすり替え、すじ違い

今回の予算修正の核心は、保育料の値上げを中止したところにあります。ところが、市長は、保育料値上げの是非を正面から問う1項再議を避けて、法人市民税の増額修正を理由に4項再議に付されました。これは議論のすり替えであり、筋違いの再議だといわなければなりません。

市長の再議を認めることは、保育料の値上げを認めることとなります。昨日も（今日も）、小さな子どもさんを抱えたお母さんたちが傍聴に来られていましたが、保育料の負担軽減を望む子育て世代の切実な思いに応えようとするなら、先の修正議決をくつがえすことは、決してできないのであります。

経済の現実に応じて判断する見積もり

賛成する理由の第2は、法人市民税の増額修正が、地方財政法第3条第2項に違反するとはいけないからであります。

同条項では、「あらゆる資料に基づいて正確にその

財源を補足し」なければならないとされていますが、「あらゆる資料」とは、あくまでも参考指標に過ぎず、種々の経済指標から税収見込み額が機械的に算定される計算式があるわけではありません。

同条項ではさらに、「経済の現実に即応してその収入を算定」とされており、ここには、経済状況に応じて一定の判断、予測が入り込む余地があるのです。ですから、法人市民税については毎年度、数十億円にのぼる見込み違いが生じているのです。今回の法人市民税の増額修正の規模は、経済の現実からも、許容できる範囲であります。

減税の一方で負担増に、市民が拒否

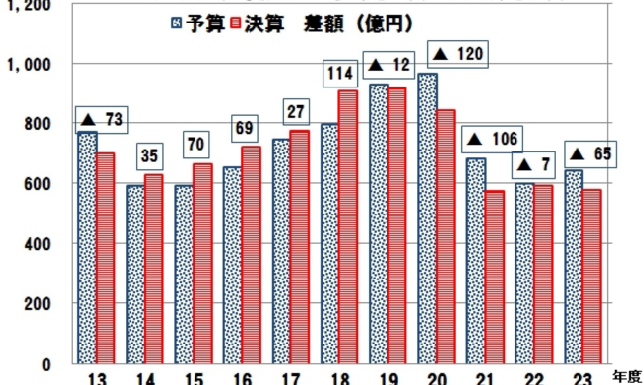
最後に、減税によって無理やり税収を減らす一方で、保育料値上げという負担増を強いるやり方が、市民からノーを突きつけられたのです。そのことを重く受け止めることこそ、市民にたいする市長の責任だということを申し上げて、討論を終わります。

保育料は据え置きに

採決の結果、再議は否決。修正通りとなりました。



法人市民税の予算額と決算額



2013年2月議会・3月議会での議案と態度（3月22日29日）○：賛成 ●：反対

議会	主な議案名	結果	各党の態度											
			共	自	減	公	民	新	打	名	市	改	ク	
2月議会	保育料値上げだけを撤回し、減税継続、その他の負担増とムダ使い放置の予算(修正後)	可決	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	減税をやめ、保育料や国保料の値上げをやめ、暮らし優先の予算に組み替える動議	否決	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
3月議会	保育料値上げを凍結した修正をやめる再議(市長の言うとおりにする)	否決	●	●	○	●	●	●	○	●	●	●	○	

会派名 共：日本共産党 自：自民党 減：減税日本ナゴヤ 公：公明党 民：民主党
新：新政会 諸派(打：既得権打破の会 名：名古屋市民クラブ 市：市民クラブ
改：地方分権改革会 ク：無所属クラブ)

減税日本から、また離団者

2月議会後の3月28日に減税日本の荒川和夫議員(瑞穂区)が減税日本を離団、名古屋市民クラブを届け出ました。

新たな会派構成 (2013年3月29日現在)

・日本共産党名古屋市議員団	5人
・自由民主党名古屋市議員団	17人
・減税日本ナゴヤ	17人
・公明党名古屋市議員団	12人
・民主党名古屋市議員団	10人
・新政会	7人
・既得権打破の会	1人
・名古屋市民クラブ	1人
・市民クラブ	1人
・地方分権改革会	1人
・無所属クラブ	1人
・欠員	2